

第70回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 アナウンス部門 審査結果および講評

上段は自分の原稿についての講評、下段は課題原稿についての講評

審査順	学校名	名前	得点/500	北郷主審講評	安田先生講評	顧問審査員講評
1	府市岡	小野 友理江	335	原稿の内容に合わせて上品な語り口ですが、楽しい話題なので、相手を意識してより元気に。もう少し発声を頑張ってください。意味の取り方、音の高低の使い方に工夫を。	最初の2文が深刻な感じになってしまいました。いつ放送するかを意識すれば、前半の文の書き方が変わると思います。「それは部長たちが」ではないと思います。放送では「しちにん」と言います。コメント引用の部分がうまく切り替わらなかった。「畳の上」が自然な言い方だと思います。	マイクの吹かれに注意。語尾まで大切に。少し暗い。マイクに近い。うねりに注意。文末の処理に注意。話題がよい。もっと音の幅を。話すイントネーションで。ずり上がりに注意。もう少し元気がほしい。コメントのうねりに注意。丁寧に。「はかま」のアクセント。「悪い」の語尾が下がっていない。
					「大阪関西万博」など、ひと塊でしゃべりたい。言葉がばらばらになった箇所がありました。普段の話し方と比べて、全体として低く消極的になったと思います。	間やスピードに工夫を。イントネーションに注意。内容の理解を。伝わりにくい。プツプツ切れる。意味のつながりを意識して。単調に聞こえる。内容について、どこが重要かを考えて。
2	相愛	平 ゐとあ	入選	「ボールスポーツ」「小西さん」アナウンスを聞いてとても興味がわきました。ボールスポーツについていまひとつ理解できなかったことが残念です。高低の使い方や幅があり聞きやすい。	「生徒がいます」は、高校生同士の放送としては少し違和感があります。最低音まで下がるのは文末だけにしましょう。「小西さん」の「し」は無声化。「結局」の後のプレスは必要ないでしょう	メリハリのある読み方で内容が伝わってくる。ボールスポーツが聞き取りにくい。もう少しスポーツニュース風にしてほしい。特に初めて出てくる固有名称など立てるところは、もっとゆっくりはっきり。硬さが残る。話題がよい。少し浮ついた感じ。句末を下げよう。発声がよい。「あと少し」はもう少し立てられると印象つく。人物名やキーワードはゆっくり読むなど、聞き手のことを考えられると良い。
					「オランダ」という主語が埋もれてしまいました。「在」は頭高。「それによりますと」が丁寧すぎる。「持続可能」の「く」は無声化。「共に」が低すぎました。	中ほどの意味が伝わりにくい。早い。さらさら読む印象。共通語のイントネーションを。少し早い。緩急を考えた。
3	プール	栗飯原 優衣	2位	とても聞きやすい声。言葉の一つ一つを丁寧に立てているのが伝わりますが、全てを立てることで何が大切なかわかりにくくなってくる。	「えいげいぶ」に聞こえました。ややマイクから遠いようでした。「…と生えてこない」のあたり、やや聞きづらい。「ついに」が大げさすぎ。woではなく「oと発音してください。	スピードや間がよく、内容が伝わりやすい。素材が面白く、明るく聞き取りやすい声。「来て」が関西アクセント。イントネーションに注意。面白いニュース。わかりやすい構成。スピードの緩急があってもよい。最後の一文に突然感。冒頭の声を張りすぎ。不必要な声の表情がある。語尾がいきなり低く落ちるクセが気になる。最後の一文をもう少し印象的に。数字が立てられる点が良い。
					「駆使した」の「く」は無声化。「在大阪」でひと塊です。「直径」だけ低すぎた。「水素を」のあとのプレスは要らない。	落ち着いており、伝わる読み方。意味のかたまりやわかり受けの意識ができています。
4	桃山学院	小西 葵	入選	芯があって聞きやすい声の高さ。助詞や言葉一つ一つをしゃくりあげるくせを少し感じる。緩急の工夫をして、大事なところはもう少しゆっくりでもよいと思います。	助詞が伸びるのが癖にならないように注意。並列の情報の音の高さが不ぞろいです。「先日」はニュースの言葉としては曖昧過ぎる。「2歳で…」からの昔話は、どうしても必要だったかな。「意気込み」は無くてもいいかもしれません。最後の文が高止まりでした。	語尾が少し伸びる。考える間がほしい。ややうねりがある。文が長い。後半は慌てて聞こえる。文末をもっと落としてもよい。文体が固い。練習の具体的な様子を知りたかった。話し言葉で。緩急に工夫を。「し」のsiがshiiに聞こえる。口の形に注意。
					「最新の」が低くて「デジタル技術」が高いのはおかしいです。長い文を音にする場合、特に大きな意味の切れ目がどこなのかを見極める必要があります。	間がなく、早いので内容が伝わりにくい。内容の理解をしてほしい。意味のかたまりをしっかりと読んでいる。スムーズに読めている。文末を止めて。フレーズに工夫を。
5	府堺西	田中 亜依	331	丁寧に読んでいるのは感じるのですが、まだ読んでいない感じがします。自然な語り口で伝える工夫をして、何が大切なかをとらえて伝えることを大事に。	五番のアクセントは平板です。最初の二つの文の情報の組み合わせが不適切だと思います。文末が高止まりになっています。プレスの直前の助詞が伸びすぎ。「守り育てる」は一つの動詞として言うほうが自然だと思います。	番号のアクセント注意。文頭の子音が聞き取りにくい。ややうねりがある。何の運動？音の聞こえにくい箇所がある。イントネーションに注意。文頭の息もすっかり出そう。何についての文部科学大臣賞かを先に。聞き取りにくい音がある。「つ」が特にすべっている。語尾はもう少し低く、短く。文節をもう少し考えて読みましょう。
					パビリオンのアクセントは「び」だけを高くだと思います。「大迫オランダ」になってしまいました。語尾伸びが癖になっています。「栗エネルギー」になってしまいました。	スピードは良いが、メリハリをつけてほしい。暗く、ややぶつ切り。落ち着いて読んでいる。プロミネンスにメリハリを。句末が少しのびる。フレーズに注意を。

第70回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 アナウンス部門 審査結果および講評

上段は自分の原稿についての講評、下段は課題原稿についての講評

審査順	学校名	名前	得点/500	北郷主審講評	安田先生講評	顧問審査員講評
6	宣真	桐本 エリカ	300	意味と高低のつけ方に再度工夫を。もう少し遠くに相手が意識するとより伝わるアナウンスになると思います。	danceバトン部に所属しているということを伝えるニュースですか？核になる情報が分かりにくいです。音域を広く使う努力はわかりました。話すイントネーションで。パフォーマンスは中高アクセントです。	文の途中が聞きづらい。「読んだ」という印象を与える。うわついたイントネーションに聞こえる。構成に再考の余地あり。早い。イントネーションに注意。滑舌に注意。音がつぶれる。明るい読みができてる。声は良くて出ている。句末に注意。文中の文字が聞き取りづらい。早口。文章がブツ切れ。聞き手を意識して。
					1文目の主語が低くなってしまいました。 ニュース文を読むことに慣れていないと思います。 ただ、声の状態は、課題文のほうが自然だったと思います。	「上から下へ」読む工夫を。内容の理解を。イントネーションに注意。ずり上がるところに注意。フレージングに工夫を。
7	帝塚山	小林 海遥	356	助詞や語尾の下がり方は工夫をしていると感じますが、読みが一定なのでどの部分が大切かを考えて緩急の工夫を。	「私たちの…行われています」という始まり方は、校外に紹介しているように聞こえます。 音域を広く使う努力はわかりました。「甘さ」のアクセントは平板です。「を機に」は書き言葉。	「イナゴ」が聞き取りにくい。内容は面白い。話し言葉での原稿作成を。話すイントネーションで。話題が分かりやすい。内容が面白い。語尾が長い。語尾で急に声が低くなる。
					「大阪関西万博」など、ずり上がっている箇所がありました。「いうことです」など、アクセントが残りすぎている箇所があります。	意味を理解し、伝えるアナウンスになっている。内容の理解を。立てるところをしっかりと。
8	いちりつ	道家 晴菜	5位	高低の使い方は上手く自然な息遣いに聞こえました。ただつるつると早い印象。大事だと思ふところをもう少しゆっくりするなど緩急の工夫を。	コメント引用から始まるのが最適ではないと思います。意味が分かりにくいコメントでした。言い回しが文学的になりすぎたと思います。自然に話そうとしているのは分かりました。せつかく自然に話せるんだから、自然な話し言葉で書いておきたかったですね。今を具体的に伝える情報が足りないと、ニュースとしては厳しくなります。	内容がよく伝わる。発声にややクセがある。体言止めに気になる。校内放送を意識した内容を。発声に注意。明るい声。リスナーを意識して。早い。校内放送の意図を考えて。
					「在大阪 オランダ総領事館」だと思います。「建物は…を中心に」ではないと思います。最低音まで下がるのは文末だけにしてください。助詞の「が」は鼻濁音にしてください。	落ち着いた読みで良い。後半はやや慌て気味。少し早い。キーワードや人物名を立てて。
9	相愛	中脇 凜	3位	内容を楽しくコミカルに伝えようと工夫している。自分のクセで読まないよう、初めて聞く人に伝えるという意識を。最終的には手で気持ちを作るクセもなくなるといいですよ。	「がいます」が最適かどうか。「よしひと」の無声化。「明かりを消して」の発音がくぐもりました。「響かせて」の「せ」は無声化ではありません。「そして…終わりました」という文は、さすがに苦しいです。話題は面白いので、言葉の数を減らして余裕を持たせられれば、さらにながら見えてくると思います。	引き込まれる内容。聞いていてよく伝わる。やや演出過剰。文が少し長い。情報をもう少し整理して。明るく幅のある声。授業の風景は良く浮かぶが、ニュース性が低い。「加え」のアクセント。
					「再来年の」後の「大阪」が力みすぎ。課題文のほうが、音域を広く使って安定したしゃべりができたと思います。「持続可能」の「く」は無声化。「注目される」は何に係っていますか？	よく伝わるが、もう少し間がほしい。長い文に不自然さが残る。意味のかたまりに注意。聞きやすい声。読みに工夫がみられる。
10	府池田	山下 芽泉	6位	少ししゃくりあげるくせを感じます。「オオヤドカリ」は初めて聞く語でしたが、ちょっと聞き取りにくかったことが残念。意味のまとまりで音の高低をとる工夫を磨いてください。	ややマイクから遠かった。「おかやどかり」が不明瞭です。木村さんは出てこなくていいと思います。動画サイトの情報は最後に言うほうが記憶に残りやすいでしょうか。「三国先生は」が最低音まで下がってしまいました。コメント引用が長く感じます。	初めのところのヤドカリが分からなかった。ややクセのある発声に聞こえる。テンポが一定。初めての固有名詞をしっかりと立てよう。声のトーンに変化を。プロミネンスを大切にすればわかりやすくなる。テーマはヤドカリ？先生？「遊んでいる」のアクセント。
					1文目の主語が埋もれてしまいました。「それによります」とが重たくなってしまいました。「直径」が低すぎました。「水素」は立て直したほうが良いと思います。最後の並列の高さがコントロールできませんでした。	読むことで精一杯の印象を受けた。文末の処理に注意。落ち着いた読み。さらさらと読んでいる印象。聞きやすい。どこが重要かを考えて。

第70回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 アナウンス部門 審査結果および講評

上段は自分の原稿についての講評、下段は課題原稿についての講評

審査順	学校名	名前	得点/500	北郷主審講評	安田先生講評	顧問審査員講評
11	常翔啓光	伊藤 謙吾	入選	自然な語り口と音の取り方が聞きやすかった。相手をも少し遠くに想定して。伝える気持ちをより強く表現できるとさらに良くなると思います。	文末の高さが不安定です。「事業」になってしまいました。「本物の「大腸」のほうに分かりやすいかな。「くれました」という感謝は本人に伝えるもので、ニュース文には盛り込まなくていいと思います。原文が未完成で、消せるはずの言葉が残っていたと思います。	引き込まれる内容。スピードや間もよい。冒頭の音を高く。穏やかな声だが、声に頼りすぎないように。ややうねりがある。面白くわかりやすい話題。原稿をも少しスマートに。話すように読んでいる。もう少しパワーがほしい。先生の姿勢がよくわかる。
					読んで伝える技術が、まだ身にきていないと思います。ただ、声は良いし、発音も安定しているから、放送部アナウンサーとしてのトレーニングを続けられれば、また別の世界が見えてくると思います。自校ニュースの内容は面白かったです。	語尾や子音が不明瞭。内容の理解を。意味のかたまりをとらえて。文末をしっかりと落として。ブツブツ切れることに注意。課題もしっかり練習を。どこを立てるべきか、何を伝えたいかを考えて。
12	府箕面	寺尾 結梨	4位	「読む」のではなく「伝えよう」という気持ちを感じました。間が一定なので、バリエーションをつけるとさらによくなるでしょう。	分かりやすいリード文でした。「はじめは…かかりました」の部分、具体的にどんな作業をしたのかを伝えてもいいと思います。「この大きさ」ではないと思います。最低音まで下がるのは文末だけにしてください。「これからも」が低いのはおかしいです。	面白い素材でよく伝えている。聞き取りやすい声。ややうねりがある。題材が良い。文末注意。高低の幅がとれている。文末が固い。立てたいところをしっかりと立てて。声が良く通る。文末の処理に工夫を。語尾を下げて。最後の一文を明るく。
					「最新の」が低くて「デジタル技術」が高いのはおかしいです。ほかに、修飾語が低くなっている箇所がいくつもありました。放送部アナウンサーとして自然に伝える力をつけましょう。自校ニュースがとても分かりやすかっただけに、惜しい。	間の取り方が上手い。頭の音をしっかりと出そう。長いフレーズを良く処理しているが、切り方が不自然な箇所があった。
13	宣 真	明石 峰於	336	心地よい声ですね。ただ、読みが単調に自分のクセで読んでいる感じがします。意味をとらえて、伝える気持ちを強くとってみてください。	リード文が分かりにくい。センテンスが長くなりすぎました。語尾伸び注意。「ウオンパットだけでなく」は要らないと思います。「各4か所」?	素材はよいが、もう少し取材をすれば面白くなる。少しべたべたした読み方に聞こえる。イントネーションに注意。長い文の区切りに注意。音が伸びる。テンポが一定。うねる。少しうわついた発声。話し言葉で。「13番」「緑色」「水色」のアクセント。数字を立てて。
					身の回りの出来事に広く関心を持ってれば、「大阪関西万博」の読み方に迷ったりはしないと思います。自然なイントネーションが保てなくなりました。「最新」が「せいしん」になりました。	内容の理解を。早い。滑舌注意。フレージングを考えて。
14	箕面自由	永田 千夏	330	声に圧力があって聞きやすいです。意味で高低をつけられるよう文章の内容をより考えてみてください。一定に音にしているという印象があります。	部に昇格したことを伝えるニュースなのか、違うのか、分りにくかった。「活躍の場」が低くて「与えたい」が高いのはおかしいです。コメント引用が長すぎる。先生ではなく部活に注目したほうがうまくいったかもしれません。音域を広く使い続けることができませんでした。	伝えたい内容は、部活？顧問の先生？テーマを絞ってほしい。長い文の処理。イントネーションに注意。発声に注意。うねりに注意。サ行とタ行がずべている。語尾が長い、短く。
					放送部アナウンサーとして情報を伝える力を日ごろの放送活動の積み重ねで練習しましょう。	メリハリがほしい。うねりがある。意味のかたまりを大切に。ブツ切れの印象。明るいニュースなのに暗い。
15	大 谷	山田 莉央	339	自分のクセで読んでしまっている印象があります。低めで聞きやすい声だと思うので、内容にあった高低や間の使い方ができるよう工夫してください。	「本校」は要りません。自然なイントネーションが定着していないと思います。不用意に低く入ったり、ムーディーになっていたりしています。体言止めは不用意に使わないで。最低音まで下がるのは文末だけにしてください。	声のボリュームの変動が大きく、聞き取れない子音がある。発声に注意。うねりがある。自然な話し言葉の息で。イントネーションに注意。「本校」は不要。パンチプレスが聞き取りにくい。「競技ルール」聞こえづらい。
					「最新の」だけ低いのはおかしいです。「た」で終わる文が、横開きになりやすい。「象徴的に」だけ急に高いのはおかしいです。	音のつづれが気になる。うわつきに注意。イントネーションに注意。滑舌に注意。歌っているような読み方に注意。

第70回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 アナウンス部門 審査結果および講評

上段は自分の原稿についての講評、下段は課題原稿についての講評

審査順	学校名	名前	得点/500	北郷主審講評	安田先生講評	顧問審査員講評
16	相愛	上田 奈々葉	1位	自分の伝えたい部分を立てて読むことができていますと感じました。伝えようという気持ちも感じました。緩急の工夫をつけるとより良くなると思います。	「今年も…」という1文目は時間がもったいないと思います。「あつという間に」のあとが大事なのに。「これまでに小田さんは」がしゃべりづらそうです。「その結果」が最適かどうか。やや情報量が多すぎだと思います。「どこにある」が不自然に上ずりました。 「オランダ」が埋もれてしまった。「大阪 オランダ総領事館」だと思います。「象徴的に」が最も高くなるのはおかしいです。「こめて」のあとと「される」のあとのポーズが同じ長さにはならないはず。	内容が良く伝わる。メリハリがあり、間も良い。文末の「た」にクセがある。「フカ」の無声化。取材がよくできている。内容がよく伝わる。少し早い。明るく読み。面白い話題。テーマを絞って。「どこに」のアクセント。表情がのるとアクセントがたいらになりがち。 落ち着いた読み。長い文の処理に注意。意味がつかっている箇所でも音を落とすことがあった。少し早い。声に不必要な表情がつく。
17	帝塚山	徳山 琴音	351	優しい声。音の高低の幅をもう少し広げて、意味に合わせて使えるようになると思います。一文一文が一定にならないように。	1文目の2回のブレスの長さが同じになるのは違和感があります。「ことから」など、アクセントが残りすぎた箇所があります。「佐藤さんは姿勢を正して」という塊ではないと思います。「」で引用しなくてもいい内容だったかもしれません。最後は、この作品をどこで見られるかを教えてほしい。 文の構造理解が十分だったかどうか、音を聞く限りちょっと不安です。「すかいてきな」になってしまった。	マイクに近い。音の輪郭をもっとくっきり。高低差が少ない。話しことばの息使いで。一定に聞こえる。話題がよい。「サクピン」の無声化。書き言葉が気になる。「～を」「～が」が下がっていない。「たいかい」の2音目があがっていない。 音が流れる。音の幅をとってほしい。フレージングに工夫を。暗い。
18	四天東	高木 詩歩	入選	文の内容を理解して音にしようとしていることが伝わってきた。自然な語り口で聞きやすかったです。より遠くに相手を意識して発声してみてください。	「3月26日」の話題を、いつ伝えるつもりで書きましたか？日付は要らないかもしれませんが。試合の様子が分かりません。試合の様子を言えないのなら、「快進撃」をテーマにしないほうがうまくいくと思います。情報のバランスと順序を工夫してみましょう。文末の高止まりが癖にならないように注意。 仕方なく息継ぎをする場合、その直前の音の高さに注意。「バピリオンは…中心に」ではないと思います。何を紹介する計画なのか？意味のまとまりが作れませんでした。	間やスピードがよく、内容がよく伝わる。聞き取りやすい声。スポーツニュースらしさを。少しうねりが残る。具体的な努力が入るともっと良くなる。「～で」等の語尾が長く、下がっていない。「明らかに」のアクセント。無声化に注意。 ややうわついた読み。つぶれる音がある。音の幅をどう。自然に読もうとしている。
19	宣真	木下 楓賀	337	身近な話題を取材しましたね。様子がよく浮かんできました。緩急が一定で、少しクセで読んでしまっています。意味を捉えて伝える気持ちを。	苗字が低くて名前が高いのはおかしいです。文末の高止まりを直したいです。「たった1日の…」という言い方が最適かどうか。たいしたことないって思われないほうがいいよね。一級二級のアクセントは平板だと思います。 文末よりも、途中の助詞のほうが低くなっている箇所があります。「…となる中」でひと塊です。「水素」が埋もれてしまいました。「専用医学」に聞こえました。	間もよく、堂々とアナウンスできていた。うねりに注意。一日でとれる資格のニュース性は？イントネーション注意。句末が伸びる。フツ切れにならないように。語尾をしっかり下げる。「展示」のアクセントに注意。 内容の理解を。うねりがある。うわつきがある。文末を落として。幅をどう。フレージングに工夫を。
20	府池田	徳山 莉奈	355	きれいに丁寧に読んでいるという印象。交換が持てますが、内容を再度イメージして、相手に伝える自然な息遣いを意識してください。	ややマイクから遠いと思います。公園そのものを紹介するニュースというのは、校内放送としては少し違和感があります。遠足の前に伝える放送として作れば、百歩譲ってなんとかなったかもしれません。発音は外向きで明瞭が良い。「およそ」と言ってください。 自然なアナウンスになっていると思いました。「バピリオン」は箱型の建物の中心に「」ではないと思います。「水素」の後のブレスは、できれば無しがよい。	よく調べられており、わかりやすい内容。どの公園なのか聞こえにくい。イントネーションに注意。コメントの情報選択に注意。「約」でなく「およそ」。終わり方を自然に。自然な読み方を。文末で急に下がった部分がある。 よく理解して読めている。うわつきがある。イントネーションに注意。立てるところと捨てることを意識して。文の内容を理解して。